

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

99.4.2 No. 4943

## 中江・水野選一本番に突入!

# 4月総行動に全力でたちあがろう!

## 「中江昌夫をはげます集い」で 二〇〇名が必勝を誓う

地元地域、労組の支持者が  
熱烈に決意

三月二八日開催された「中江昌夫をはげます集い」は、地元・地域、労組の支持者など二〇〇名が船橋グランドホテルに集い、残り約一カ月を総力をあげてたたかひぬき「動労千葉の中江さん」の必勝を誓いあった。

開会を竹内利雄氏(総合選対委員長、飯山満・山の手町副会長)が力強く行い、主催者挨拶は、動労千葉顧問弁護士でもある菅野泰氏が「中江さんは本来なら国政に挑む人。この激動の時代のなかで、これからが力を発揮するとき。みんなの力で勝利をもぎとろう」と檄を発し、

それぞれ来賓の方々からも熱い連帯が発せられた。

こうした熱烈な支持者を前に、中江さんは「初心に立ちかえり、全力をあげて皆様の支援に応える」と熱烈に決意を表明した。

また、事実上の「本番」出陣にふさわしく、前原西八丁目町会太鼓同好会の皆さんが駆けつけ、腹に響きわたるような「太鼓」で「総行動」突入の号令を発した。

雰囲気も最高潮に達したなかで、中山長七国鉄OB会船橋支部長をはじめ各町会、労組代表から心のこもった挨拶を受け、参加した動労千葉組合員もあらためて自らの責任を感じるとともに、その先頭で奮闘しぬくことを決意した。

### 船橋を平和と緑の文化都市に 中江昌夫をはげます集い



▲支持者、中江さんと参加者全員による「明日の船橋」の大合唱

### 国鉄決戦としての 中江・水野選挙闘争

中江・水野選挙闘争は「形」と「場所」を変えた「国鉄決戦」であることは明白である。

当局も、JR総連革マルも注視し、そして国労臨時大会での『転換』に怒り、苦悩する現場

の国労組合員の注目のただなかでの統一地方選―船橋(中江)、勝浦(水野)選挙闘争である。動労千葉の団結力、底力をここではつきりと示すことだ。

熱い想いで支持・支援を寄せられていく多くの人々との絆をしっかりと結び、この闘いを

通して結成二〇周年にふさわしい新たな飛躍をかちとろう。

### 「あと二五日間 悔いのないたたかいを」

残すところ二五日間、選挙戦は完全に白熱化している。

必勝のためには組合員一人一人の足で、汗を流し、一票一票を集めぬことだ。いうまでもなく候補陣営も同様、特効薬はないのである。こころ一番、動労千葉のド根性を発揮しよう。四月総行動へ!

### 「父の遺志引継ぎ闘う」(3・28三里塚)

#### 一故市東氏長男 孝雄さんが決意表明 3・28生誕



▲挨拶に立つ故市東氏長男孝雄さん

三・二八三里塚現地集会は、「二〇〇〇年平行滑走路完成」の全面粉砕を宣言するにふさわしい熱気と決意に満ちた闘争としてかちとられた。

特に、「第一部」故市東東市氏追悼集会では、不屈に闘い続けられた市東さんの遺志を引き継ぎ、闘いぬくことを全体が胸にしつかりと確認したのである。

なかでも故市東さんの長男孝雄さんが「父はこの世を去りましたが、その遺志は長男である私が引き継ぎます。あくまでも空港に反対し、皆様方と共に進みます。」と述べられ、万雷の拍手を受けた。動労千葉からは中野委員長が追悼と決意を述べた。